

この街に
この人あり

杉並昔話紙芝居一座「すかい」座長
那須克彦さん

杉並の昔話を紙芝居にして 各所で口演 子どもたちに地域の 文化を知ってもらいたくて



那須克彦さん

きっかけは？

平成18年、NPO法人サービスフロンティアの事業の一環として行われた「すぎなみ地域大学」の講座「杉並の民話を紙芝居に」に参加。もともと絵心があり、地域文化の理解のためにと、講座終了後仲間と結成、活動10年になりました。

活動を続けて感じることは？

例えば、保育園児に同じ演目を“もう一度やって”とせがまれた時や、高齢者施設で涙ぐんでいる年配者を見たときなど、やっていてよかったですなと思います。また活動の範囲も神奈川や静岡にも広がり、神奈川では同様の活動を立ち上げる動きもあるようです。私たちの活動が自分の地域を愛する手助けになれば、と願っています。

どんなところで活動していますか？

郷土博物館分館の開設に合わせて開始、以来毎月第1火曜日・第3土曜日に定期口演、またアニメミュージアム、小学校、保育園・幼稚園やイベントでも、更に最近では高齢者施設でも行っています。一話10~12枚の絵で構成10分、それを3~4話、間にクイズなどを入れて約1時間でやっています。また落語ネタも取り上げています。

紙芝居の良さとはなんでしょうか？

手作りの原画（静止画）、視聴者の反応を見ながら、その場の雰囲気に合わせた双方向の語りが良いのではないでしょうか。受け手もイメージを自分で膨らませるし、私も演者との交流が感じられてやりがいを感じます。



桃井第二小学校での口演

お問合せ:那須克彦 TEL/FAX 03(5934)8258
k.nasu@hotmail.co.jp